



希望の未来へ!あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

2019年 第56号

市民相談はお気軽に

公明党控室 047-436-3032

発行 橋本 和子

2019年度船橋市予算より

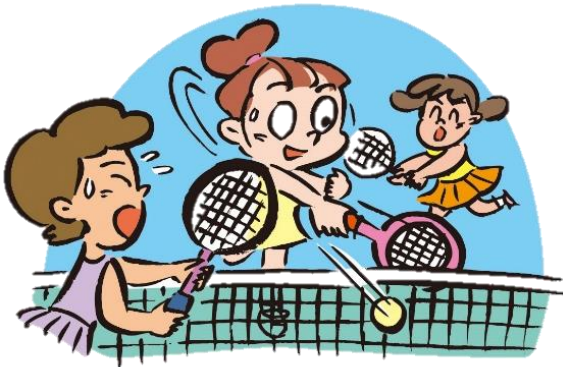
小学校のトイレ改修工事等が進みます。

2019年度は、海神小・高根東小・田喜野井小・芝山西小・二宮小・金杉小の6校で実施。

その他にも、ブロック塀等の改修工事も16小中学校で進みます。



©KOMEITO



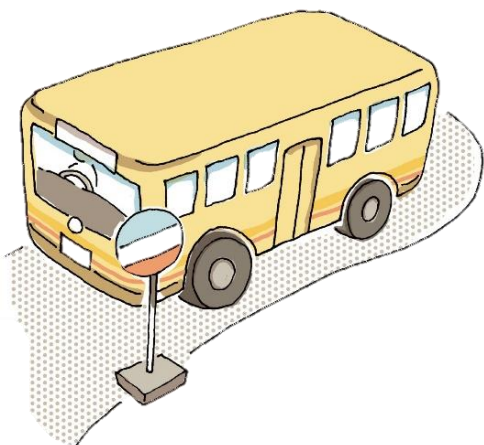
中学校の運動部活動へ、専門的知識・技能を備えた指導員を派遣。

教員の負担軽減と部活動の充実を図ります。

障がい者の高齢化・重度化・親亡き後に対応した切れ目のない支援を行う地域の体制づくりのため、コーディネーターなどが配置されます。



©KOMEITO



何度舗装してもすぐ劣化する道路の傾向性を調査し、新たな舗裝修繕計画を作成。

効果的で長持ちする道路舗装を検討します。

強い防災力を持つ船橋に

国産の乳児用液体ミルクが今春にも、発売される予定です。

乳児用液体ミルクは、ふたを開けて吸い口を取り付けたり、哺乳瓶に移せば、すぐに飲むことができ、手軽に使い、夜間や外出時の授乳はもちろんのこと、粉ミルクのようにお湯で溶かす必要がないので、災害時、とても役立ちます。

災害時はストレスや疲れから母乳が出にくくなったり、哺乳瓶を洗う衛生的な環境が整っていない場合があります。液体ミルクであれば、お湯を沸かしたり、清潔な水がなくても簡単に授乳でき、災害時に赤ちゃんの命をつなぐ貴重な栄養源となります。

文京区では、全国に先駆けて赤ちゃんを受け入れる避難所に国産液体ミルクを備蓄する方針を発表しました。液体ミルクを乳児健診や両親学級、防災フェスタなどで紹介し、普段から使い慣れてもらう啓発事業も行う予定だそうです。

本市においても、備蓄品として、液体ミルクを導入し、さらに子育て世代に、幅広く、啓発すべきと思います。



本市では、粉ミルクを全ての宿泊可能避難所及び福祉避難所に備蓄し、毎年更新している。液体ミルクは水の調達ができない、お湯を沸かせない状況では、有用なものと思う。

粉ミルクは約1年半の保存期間に比べると、液体ミルクは約半年しかないこと。

常温保存が可能だが、夏場の高温時の保存など、適切な取り扱いや保存方法などについて、文京区に確認をし、調査する。



乳児用液体ミルクの試作品
(公明HPより)

医療機関で使用する水は飲用だけではなく、大量の医療用水が必要となることから、断水の備えが必要。船橋市立医療センターでは、断水への備えができているのか。

災害拠点病院に指定されているので、非常用井戸を設置している。

災害等により、上水道の供給が途絶えた場合、受水槽の水量が一定以下に減ると、自動的に非常用井戸のポンプが起動し、地下水をくみ上げ、膜ろ過装置により、水道水と同等に浄化されて、受水槽に給水され、医療を提供する上で必要となる水や、生活用水など、平常時と同等に使用できるようにしている。

地域の防災意識向上のため、大人から子供まで楽しみながら家族で参加できる防災運動会について提案しました。

持ち出し袋に指定の避難グッズを詰め込む「災害時借り物競争」



車いす利用者との避難を体験する「車いす避難ラリー」



防災の知識を問う「減災〇×クイズ」



例えば、バケツリレー・毛布などで担架を作り、ケガ人を運ぶ競争・大声で「火事だ！」と叫んだり、防災グッズの借り物競争など、地域のイベントに防災の要素を取り入れた競技をするなど、工夫をし、楽しみながら防災を学ぶことはとても重要だと思います。危機管理課で、運動会の種目をだれが見てもわかるような資料を作成し、HP等で公表しておけば、それぞれの地域で参考にすることができると思い要望しました。

児 童 虐 待 防 止

虐待による痛ましい事態が後を絶たちません。野田市の事態を受け、児童相談所をめぐる問題の複雑さや、学校現場での対応など、様々な課題が浮き彫りになる中、政府では、児童虐待防止の緊急総合対策が議論されています。



大事な大事な未来の子ども達を、これ以上犠牲にはなりません。

児童相談所に寄せられる虐待相談は、増加傾向にあり、その背景には、経済苦や家庭不和など様々な要因があり、簡単にはいかないことは重々承知しています。

そのような中、まずは「しつけに体罰は必要」といった間違った認識を一掃させなければなりません。

こんなときにはすぐお電話ください。



(公明党HPより)

多くの虐待死の背後にはDVがあるとも言われています。弱い立場の妻や子どもを暴力などで支配するなど、もってのほかです。

子どもに対し、暴言を吐き続けていると、子どもの脳はどうなるのか、手を挙げてしまう前に、ひと呼吸おく、子どもに反抗的な態度を取られた時にどうすればいいのかなど、虐待にならないように、サポートすることが必要だと感じています。



©NEW KOMEITTO

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ hashimoto-kazuko.jp

facebook

twitter

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

